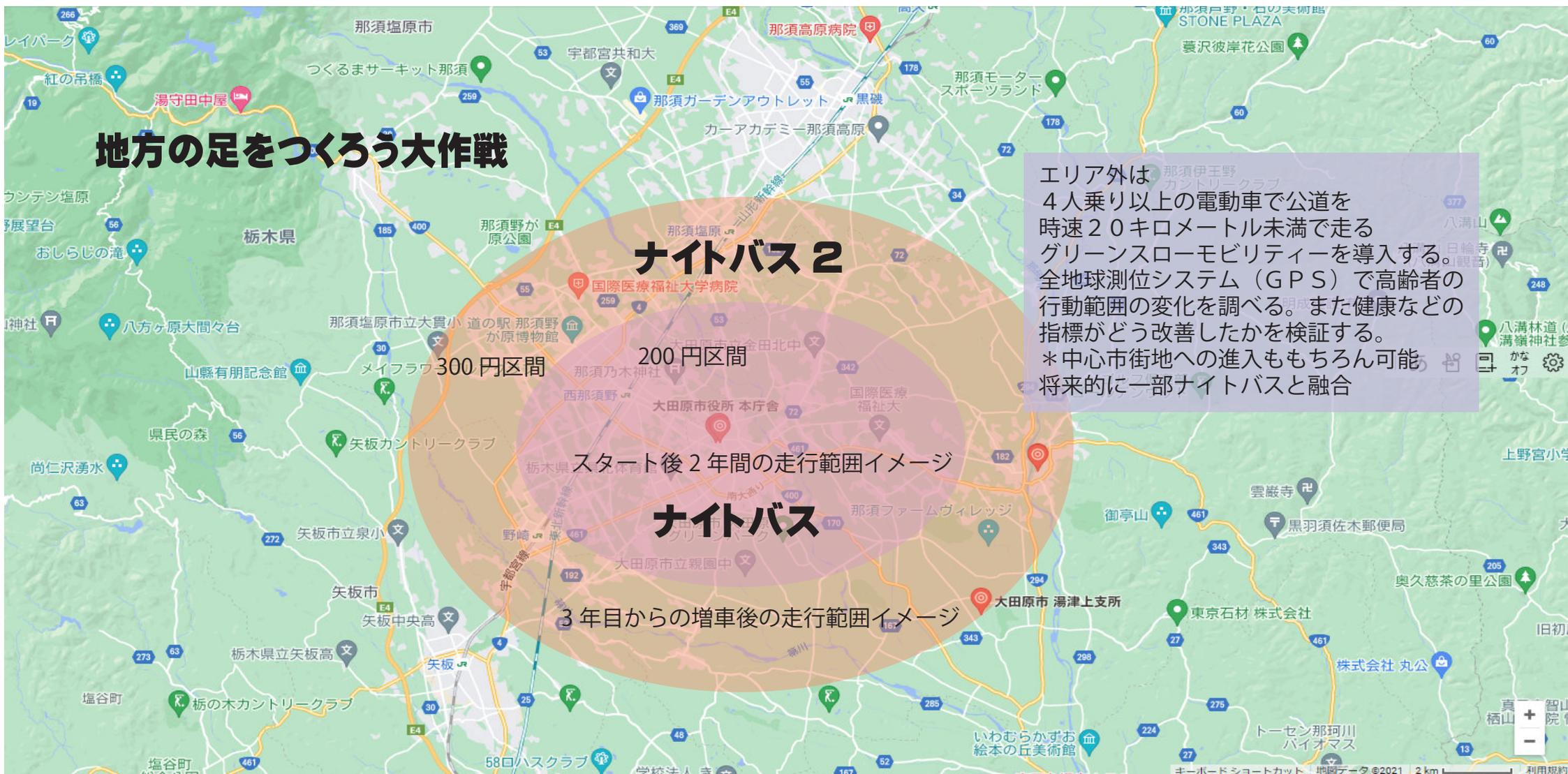


地方の足をつくろう大作戦



エリア外は
4人乗り以上の電動車で公道を
時速20キロメートル未満で走る
グリーンスローモビリティを導入する。
全地球測位システム（GPS）で高齢者の
行動範囲の変化を調べる。また健康などの
指標がどう改善したかを検証する。
*中心市街地への進入もちろん可能
将来的に一部ナイトバスと融合

60歳以上の代行運転業運転手が駆る30台のワゴン車（相乗り9人まで）が走る午後5時から深夜2時までの大田原市はリーズナブルに移動出来る
自家用車を使わなくても生活が成り立つ（＝インフラ）イメージモデルとして市がバックアップ

市負担の基本の給与

+

出来高（スマホ決済）
の60%

40%を管理会社と市へ
車両維持費負担含む

市民全員のスマホ取得を前提にスマホ決済でマイナンバー紐付けなど行政の目標を達成しつつ、
システムとしてはあえて完璧でない未完の状態リリース、ここから洗練させるのはあくまでもユーザーの意見を吸い上げつつ同時進行

ゆづかみ Hill's
+
それを支えるナイトバス

コロナで那須の別荘を求めたが
セレブの目にかなう物件は希少
敷地 1000 坪、シャッター付きガレージ、住居 50 坪～ 100 坪
5000 万円から 1 億円のハイスペック住宅地を 1,000 棟分譲

こちら 2P は
以前こんな
どうでしょう？と
粗出しで
提案したものです。

はじめは別宅・・・

テレワーク普及で将来的にはふるさととして
永住してもらうことを目標としインフラの整備

医療○

教育△

スポーツ○

歴史文化；現状△・整備すれば資産として◎

レジャー○ ゴルフ・テニス・乗馬

十宝霊場・七福神・十三仏めぐり、寺社仏閣をはじめ中世が残る稀有な土地

交通・・・自動運転までのつなぎに、**ナイトバス pm5 時～ am2 時**を含め小型のワゴンを市内外に縦横無尽に走らせる。

運転手さんはバス会社の研修を受け資格取得したパートタイマー公務員（代行車ドライバーからの移行も含める）

*配車スケジュールの配信・共有による効率化など A・I を駆使し先進的な取り組みの特区とする。

ナイトバスはデマンド交通の欠点を補い、地方における地方にふさわしい地方のための 21 世紀のライフスタイルの確立を狙う
日中から夜まで移動の手段に悩むことなく、安心して街ですごし人生を謳歌できるように移動の自由を担保することが
はじめは空車が目立っても数年後には県北の血管たるダイナミックな人生の送る方の必須のアイテムとして地元民に愛され
また自由の移動を守ってくれる自治体への深い信頼へつながることと思います。

インターチェンジや新幹線の駅に勝るとも劣らない交通網は意外や身近にあるものと考えます。



60歳以上の人材の活用を視野に入れたお買い物代行も含め、ナイトバス含む『よいちバス』（*仮称）が自動運転や自動配達 of 農産物をはじめ自動販売への移行期間に開発計画を整備し、シームレスに6G世代や22世紀を迎えられるように着々と準備したいところです。

